

VI 各種項目、比率等の計算方法

- (1) 支出総額＝実支出＋実支出以外の支出＋繰越金
- (2) 実支出＝生計支出＋その他の実支出
- (3) 生計支出＝消費支出＋土地家屋購入
- (4) その他の実支出＝勤労所得税＋個人住民税＋他の税＋社会保険料＋その他
- (5) 収入総額＝実収入＋実収入以外の収入＋繰入金
- (6) 実収入＝経常収入＋特別収入
- (7) 経常収入＝勤め先収入＋事業・内職収入＋他の経常収入
- (8) 特別収入＝受贈金＋その他の実収入
- (9) エンゲル係数(%)＝(食料÷消費支出)×100
- (10) 選択的支出係数(%)＝(選択的支出÷消費支出)×100
- (11) 公共的料金負担率(%)＝(公共的料金÷消費支出)×100
- (12) 公共料金等負担率(%)＝(公共料金等÷消費支出)×100
- (13) 準公共料金等負担率(%)＝(準公共料金等÷消費支出)×100
- (14) 対前年増加率
 - ア 名目増加率(%)＝(当年金額÷前年金額－1)×100
 - イ 実質増加率(%)＝{(100＋名目増加率)÷(100＋物価上昇率)－1}×100

物価上昇率は、東京都区部消費者物価指数を用いた。

- (15) 可処分所得＝実収入－その他の実支出
 - (16) 平均消費性向(%)＝(消費支出÷可処分所得)×100
 - (17) 黒字＝可処分所得－消費支出
 - (18) 金融資産純増＝貯蓄純増＋有価証券純購入
 - (19) 貯蓄純増＝(預貯金－預貯金引出)＋(保険掛金－保険取金)
 - (20) 有価証券純購入＝有価証券購入－有価証券売却
 - (21) 土地家屋借金純減＝土地家屋借金返済－土地家屋借入金
 - (22) 特化係数＝当該項目の構成比÷当該項目の標準の構成比
 - (23) 実質増加率への寄与度＝{(当年の当該項目の名目金額÷対前年物価上昇率－前年の当該項目の名目金額)÷前年の全体の金額}×100
- 消費支出の増加率への実質寄与度は、小数点以下第4位で四捨五入しているため、消費支出の実質増加率とは必ずしも一致しない。